



## =取り組みを提起する菅原支部書記長=

会議は佐藤都久雄執行副委員長の開会挨拶で始まり、座長に佐々木研司執行委員長を選出。佐々木委員長は座長就任の挨拶で、「共謀罪」は審議不十分の中、可決・成立に

向けての動きが強まっている。予想される解散総選挙に勝利し、安倍政権を退陣に追い込みたい。今年度の新採の国労加入は叶わなかつたが、これらの取り組みが重要だ。

## 35人の参加で取り組み意志統一

国労盛岡支部は6月3日、盛岡市・国労会館で「組織対策会議」を開催した。4月の新規採用者配属に向け、「1月に盛岡支部「地区協・分会代表者会議」を開催し、これまでの会議の中で2年続けての新規採用者の国労加入を勝ち取るため奮闘することを確認してきた。残念ながら新規採用者の獲得とは成らなかつたものの、盛岡支部として今後の組織拡大に向げどう取り組んでいくのかを全体で共有し確認し合つた。

会議には各機関の代表者と地方本部の沢田書記長、菊池・及川両執行委員ら35人が出席。各職場からの報告を受け、意見交換し「対策・実施・検証のサイクルが大事」―組合員が集まるる場をつくり議論をすることが重要」と意思統一を図つた。

## 盛岡支部組織対策会議

**全体で拡大の議論する」とが重要**

# 仕事をキーワードに話せる職場作りを

A vertical banner featuring the characters '勞盛國' (Lao Sheng Guo) in large, bold, black calligraphy at the top. Below the banner is a landscape illustration of Mount Fuji, rendered in a traditional woodblock print style with a railing in the foreground.

発行所 国鉄労働組合  
盛岡地方本部  
発行者 佐々木 力  
編集者 及川 孝  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス  
[nrumori@poem.ocn.ne.jp](mailto:nrumori@poem.ocn.ne.jp)

2017.7.10  
第1507号

拡大キャッチコピー  
「新しい仲間づくりを  
皆の力で」  
「一緒に解消しませんか、  
あなたの疑問。  
加入まつてます!」

# 団体は駅連チームが優勝 清川千寿さんが個人V3

=盛岡地区協第5回ボウリング大会=



「記念のスナップに納まる参加者」

米澤常任委員長（盛岡運輸区分会）の「今日は天気も良く絶好のボウリング日和ですか？」怪我には気を付けて、日頃のストレス解消ができるよう楽しんでください」との挨拶を受け、競技に入り、1人2ゲームの合計点での団体・個人の優勝と景品を目指して競いました。

連合分会Aチームが1,246点で初優勝。2位は1,219点で貨物分会チーム、3位は1,157点で電気分会電力チームになりました。個人は、駅連合分会の清川千春さんが408点で3連覇を達成しました。2位も343点で駅連合分会の中村良宏さん、3位は334点で運転分会の石田修さんとなりました。個人は今年も清川さんの強さで駆け立った大会になりました。団体・個人の上位者は澤委員長から景品が手渡され怪我もなく組合員・家族の親睦を深めあうボウリング大会となりました。

い「物を言えない社員をくらいいよう国労の取り組みが必要」「掲示板を活用して自觉から訴える運動を継続する」「貨物職場では新採が名未加入。彼らの気持ちを尊重し、国労加入の流れをつくって突破口にしたい」など前向きな報告が多く出された。

各分会からの取り組みには、地方本部の沢田書記長・井池要悦執行委員から、「若社員から受けた悩みや相談を

ながら必ず返答することが必要。個人レベルの付き合いを組織化し、組合員全体で盛り上げていきたい」「対策・実施検証のサイクルが大事。執行委員会・班集会・職場集会を通じ全体で議論することが組織拡大に重要」とそれぞれ述べ、菅原書記長が「今後も『仕事』をキーワードに何でも話せる職場風土づくりに取り組んでほしい。盛岡支部は引き続き、各分会の執行委員会や役員を派遣し情報を共有していく」と締めくくり会議を終了した。

各分会は組織拡大に向けて、「これだけはやる」といった具体的な目標設定が必要である。盛岡支部が掲げた4つの取り組みを軸に、分会独自の創意工夫した取り組みが次のステップにつながり大きな成果が期待される。新規採用者

の国労加入は勝ち取れなかつたが、これから取り組みが大変重要なつてくる。取り巻く課題を一つ一つ克服する中から、青年・女性の国労参加員の仲間を1人でも多く迎えることができるよう奮闘し合おう。

22回目となる地方本部ゴルフ大会が6月8日、安比高原ゴルフクラブで80人が参加され開催された。

# 当面の主な日程

▽ 第86回定期全国大会  
 ▽ 8月3・9日（広島・長崎）  
 第72回原水爆禁止広島・長崎世界大会  
 ▽ 8月7・8日（盛岡）  
 ▽ 地方本部決算監査  
 ▽ 8月25・26日（東京）  
 ▽ 第31回東日本本部定期大会

第22回地本ゴルフ大会

# 箱崎勝さんが優勝

「謝罪」と「撤回」が連日のよう  
に新聞を賑やかし、  
ている今日この頃、  
政治家の発言の軽  
さを感じているの  
は私一人だけでは  
ないだろうと思う

先月、青森支部で開催された機関紙交流会と同様、「分会活動の活性化」について各会館で開催され各分会の教宣部長を中心に14人が参加した。

「毎月発行している」といった報告がある一方で、「月1回の発行を目指しているが、会の取り組みに学び、教宣活動と機関紙作成について問題点を共有する中で交流と学習を行った。及川教宣部長が提起を行つた後、事前アンケートに基づいて各分会の代表者が報告を行つた。

地方本部が主催する「第3回機関紙交流会」(盛岡支部側)が6月17日、盛岡市・労会館で開催され各分会の教宣部長を中心に行なわれた。また多くの分会が、「一歩も前に進まない」との担当者へ引き継ぎが必要など不安な声も寄せられた。

## 分会活動活性化に向け 機関紙作成やレクを

◇地本機関紙交流会・盛岡◇



第16回貨物運転士学習交流会  
国労東日本運輸協議会

<宿前で記念のスナップで散会>

最初に、「JR 30年を検証する中でJR会社間の格差の拡大、コスト・要員削減によるサービスの低下、安全が確保できない問題が発生している」(長谷川東日本運輸協議会員)「夏季手当1・6ヶ月の回答、本部は全国からの抗議行動を要請し再考・再回答を求める取り組みを指示。『今年のボーナスは期待して下さ

「春闌では18年連続ベアゼロを止めようと客貨一体の闘いを取り組んだが止めることが出来なかつた」(渡辺東日本執行委員)「春闌ではサイレント行動を本社前で取り組んだら本部に抗議が入った」「列車が遅れ退勤時間が過ぎても休養を指示され超勤が付かない」「事象発生時の事実確認が事情聴取になつてゐる」「高齢化に伴い嘱託運

## ◇東日本本部運輸協賃物運輸士交流会◇

第16回東日本運輸協議会主催貨物運転士学習交流会が、6月22・23日K.K.R江ノ島ユイ向洋で22人(盛岡2人)が参加し開催された。

最初に、「JR 30年を検証する中でJR会社間の格差の拡大、コスト・要員削減によるサービスの低下、安

全が確保できない問題が発生している」(長谷川東日本運輸協議会員)「春闌では18年連続ベアゼロを止めようと客貨一体の闘いを取り組んだが止めることが出来なかつた」(渡辺東日本執行委員)「夏季手当1・6ヶ月の回答、本部は全国からの抗議行動を要請し再考・再回答を求める取り組みを指示。『今年のボーナスは期待して下さ

い』の社長発言は何処に行つたのか。人件費抑制は経営課題を社員・家族に転嫁したものでしかない。あきらめ、やつても無駄の意識を職場から変えていかなければならぬ。「眞田全貨協議長」と3人から挨拶があつた。

交流では、「春闌でサイレント行動を本社前で取り組んだら本部に抗議が入った」「列車が遅れ退勤時間が過ぎても休養を指示され超勤が付かない」「事象発生時の事実確認が事情聴取になつてゐる」「高齢化に伴い嘱託運

役立て改善を求める安全・安定輸送を追求していく中で、組織拡大を早急に実現することを確認し解散した。

全国大会は、千葉県のカンデオホテルズ千葉で7月27・28日の2日間。東日本本部大会は、8月26・27日の2日間、東京の田町交通ビルで開催される予定。

## △2017年度代議員決定△ 全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

沢田光広(北上工務分会)

小林良宏(盛岡施設分会)

及川孝(盛岡電気分会)

阿部一久(八戸運輸分会)

東日本本部大会(6人)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

覚(八戸工務分会)

トで乗務している」「ヒヤリハットに書いてと言われ書いた5年分支払われた」「67歳で乗務している」「ヒヤリハットに書いてと言われ書いた1週間で改善された」「他に書いてもらい本社に出された」「ダイヤ間違いを指摘し超勤払いで整理させた」「特休買上げをしてダイヤを回して事象が発生したらデーテーと一致しなければ虚偽と取られる」「待機・休養指示問題は労基署の意見をもとに整理したい」等が出され

帰り、現場での学習や交渉に役立て改善を求める安全・安定輸送を追求していく中で、組織拡大を早急に実現することを確認し解散した。

全国大会は、千葉県のカンデオホテルズ千葉で7月27・28日の2日間。東日本本部大会は、8月26・27日の2日間、東京の田町交通ビルで開催される予定。

役立て改善を求める安全・安定輸送を追求していく中で、組織拡大を早急に実現することを確認し解散した。

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)

市澤覚(八戸工務分会)

△2017年度代議員決定△  
全国4人・東日本本部6人

▽全国大会(4人)

佐藤都久雄(一関運輸分会)

菊池要悦(盛岡駅連合分会)

裏岩哲彦(宮古地域分会)

中村祐幸(北上工務分会)

田崎秋弘(青森運輸分会)